

平成 27 年度 事業報告書

事業の概要

平成 27 年度（以下「今年度」という。）においては、一般法人法等の関連法案及び定款に遵守した会の運営に務めるとともに、定款に定めた目的及び事業を達成するため、当該年度事業計画の活動指針に沿って、教育・学術・文化の振興のための各種事業を滞りなく実施した。

また、6 月開催の定時社員総会において、任期満了に伴う理事を改選し、新理事を選任するとともに、7 月開催の新理事による理事会において、会長、副会長、専務理事及び常務理事を互選し、新しい執行体制を構築した。

計画していた各種事業について、平成 10 年の授賞制度改正以降、18 回目を迎えた平成 27 年度アカデミア賞表彰事業は、会員から推薦のあったこれまで最多の 13 名もの多数の候補者について、選考委員会において慎重に選考を重ね、理事会の議を経て、文化部門 1 名、文化・社会部門 1 名、国際部門 1 名、計 3 名の受賞者を決定した。授賞式は、多くの会員の協賛のもとに盛大にかつ好評裡に催され、その模様は、本会HP及び会誌アカデミア№155 20016.3 に掲載されている。

また、今年度が第 4 回となる「平成 27 年度アカデミア教育研究助成事業」は、会員のほか各都道府県及び政令指定都市の各教育委員会、並びに関係教育機関へ応募要項を送付するとともに、本会HPに掲載するなど広く周知を図った結果、個人研究 2 件、グループ研究 4 件、団体研究 8 件、計 14 件もの多数の応募が得られた。応募のあった教育研究について選考委員会において選考を重ね、理事会の議を経て、個人研究 1 件、団体研究 1 件の助成を決定した。贈呈は、アカデミア賞授賞式に合わせ執り行われた。

講演会等の開催については、恒例のアカデミア賞受賞者による記念講演等の他、7 月に京都シンポジウム「いのちのふるさと海と生きる」、9 月に東京シンポジウム 女性が描く「いのちのふるさと海と生きる」を開催した。それぞれのシンポジウムでは数多くの参加者を得て、活発な討論が取り交わされた。また、シンポ終了後の講演者及び参加者を交えた懇親会にも多数の参加があり、盛会かつ好評裡に終了した。

なお、シンポジウムの詳細は、会誌アカデミア№153 2015.10、及び、№154 2015.12 に掲載されている。

本会事業のうち最も重要な役割を果たしているといっても過言ではない会誌アカデミアは、今年度から年 5 回発行となったが、前年に引き続き環境問題に取り組み、さらなる充実を図るとともに、多くの関係者の協力を得て滞りなく刊行し、会員各位及び関係機関等に配付した。

これら事業の実施に当たっては、経常収益の減収並びにアカデミア賞及びアカデミア教育研究助成の事業経費の増額により赤字が生じたものの、諸経費の節約に努めたため概ね全体

予算の範囲内に収まったが、平成 28 年度も厳しい財政状況が見込まれることから、事業内容を含めた見直しが望まれる。

主な事業

1. 教育・学術・文化の振興のための顕彰及び助成

1) 文化・社会及び国際交流に著しく貢献した人材に対するアカデミア賞の授与

平成 28 年 2 月 13 日（土）京都・新都ホテルにおいて、平成 27 年度アカデミア賞授賞式が挙行政され、次の各氏に対しアカデミア賞が授与された。

【文化部門】

受賞者：小林 祥泰 氏 島根大学名誉教授、島根大学特任教授
前島根大学学長

受賞理由：日本で初めての MRI による脳ドック創設と脳卒中予防に向けた広範なエビデンス集積並びに世界でも稀な日本を代表する脳卒中データバンクの構築、さらには地域医療問題の解決に向けた社会貢献活動など、我が国の脳卒中医療の発展に寄与した数々の功績

【文化・社会部門】

受賞者：中村 昌生 氏 京都工芸繊維大学名誉教授、福井工業大学名誉教授
一般財団法人京都伝統建築技術協会理事長

受賞理由：現代日本における茶室・数寄屋建築研究の第一人者として、茶室・数寄屋等の日本伝統建築の復元保存、設計管理並びに伝統建築技術の継承・発展に尽くした数々の功績

【国際部門】

受賞者：近藤 誠一 氏 近藤文化・外交研究所代表、元文化庁長官
外務省参与（国連安保理改革担当）

受賞理由：日本文化の価値を分析しつつ内外に積極的に発信し、海外との知的交流・文化交流を実践するとともに、右を日本の外交戦略として活用するなど、理論と実践の双方のバランスのとれた活動を展開し、国際シンポジウムでの貢献や世界遺産登録など国際舞台で具体的な成果を挙げた数々の功績

2) 我国の初等・中等及び高等教育の振興のためのアカデミア教育研究助成の贈呈

教育の振興を促進するため、わが国の初等・中等及び高等教育の現場において、日々、教育改善を実践している教員等を支援する「平成 27 年度アカデミア教育研究助成」は、以下の教育研究に対し、個人研究 10 万円、団体研究 15 万円を贈呈した。

個人研究：望月 基希 氏 静岡県立富岳館高等学校教諭
研究課題：「農の学び」を生かした総合学科高校生の地域実践活動

選考理由： 地元静岡県富士宮市の製紙業廃材・炭化ペーパースラッジ（リサイクル資材）と環境ストレスに強い新植物成長物質（AOH）を組み合わせた同校独自のエコ資材を活用して、東日本大震災の津波被害を受けたサクラの樹勢回復（塩害）」をテーマに地域実践教育を行うものある。

本取組みは、地域性及び独創性に優れ、今後のさらなる展開に期待を抱かせる内容であり、アカデミア教育研究助成を授与するに相応しいものと認めた。

団体研究：宮城県多賀城高等学校

研究課題：防災教育の観点から行うESD教育－国際理解プログラムの開発によるグローバル人材の育成－

選考理由： 同校が東日本大震災の被災経験をもとに実施してきた、津波波高の標識設置、防災ワークショップ、海外旅行者被災地案内ボランティア等の様々な活動、及び生徒の防災意識の向上、防災・減災を科学的視点から把握、他者との交流等の防災教育をESDの観点から再構築し、新たに①防災学習プログラム、②自然科学学習プログラム、③国際理解プログラムの3つのプログラムを柱とするプロジェクトを推進するものである。

本取組みは地域性及び独創性に優れ、他校の参考となり得る内容であり、アカデミア教育研究助成を授与するに相応しいものと認めた。

※ESD（Education for Sustainable Development）：持続可能な開発を実現するために発想し、行動できる人材を育成する教育

2. 教育・学術及び文化に関する講演会及びセミナー等の開催

「本部主催講演会等」

① 2015年京都シンポジウム「いのちのふるさと海と生きる」

開催日時：平成27年7月18日（土）13時～17時

開催場所：京都大学医学部 芝蘭会館 稲盛ホール

趣旨説明：「いのちのふるさと海と生きる」

	京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長	田中 克
講演1：海と命「人類の遠い祖先を海に訪ねて」		
	琉球大学副学長・東京大学名誉教授	西田 睦
講演2：海と森「森と海を結ぶ新たな研究と教育に挑む」		
	京都大学フィールド科学教育研究センター教授	山下 洋
講演3：海と文明「環太平洋文明から日本の未来を見据える」		
	国際日本文化研究センター名誉教授	安田 喜憲
講演4：海と経済「自然資本経済、日本モデルが世界を救う」		
	京都大学大学院経済学研究科特任教授・環境ジャーナリスト	谷口 正次

②2015年東京シンポジウム 女性が描く「いのちのふるさと海と生きる」

開催日時：平成27年9月27日（日）13時30分～17時

開催場所：東京大学農学部フードサイエンス棟中島ホール

趣旨説明：「いのちのふるさと海と生きる」

京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長 田中 克

講演1：ドキュメンタリー「赤浜ロックンロール」に描く三陸漁師の心意気

映画監督 小西 晴子

講演2：ふるさと一国を越えた思いを探るー

東京経済大学コミュニケーション学部講師 松永 智子

講演3：いのちを知り生かす身心一体科学

東京大学名誉教授・東京農工大学工学部客員教授 跡見 順子

講演4：「森里川海プロジェクト」が時代を変える

環境省自然環境局生物多様性地球戦略企画室室長 中尾 文子

講演5：森の採譜ー森と生き物たちへの賛歌“シメの贈り物”

詩人・歌人 丹治 富美子

③平成27年度アカデミア賞受賞記念講演

日 時：平成28年2月13日（土）11時～12時30分

会 場：新都ホテル「陽明殿」

講 師：小林 祥泰氏 島根大学名誉教授、前島根大学学長他

演 題：「脳ドックから脳卒中データバンクへー脳の健康寿命を延ばすためにー」

講 師：中村 昌生氏 京都工芸繊維大学名誉教授、福井大学名誉教授他

演 題：『日本建築を貫く伝統ー「庭屋一如」と「匠の技」ー』

講 師：近藤 誠一氏 近藤文化・外交研究所代表、元文化庁長官他

演 題：「テロの多発と大量移民ー民主主義への挑戦ー」

④平成27年度アカデミア教育研究助成報告

日 時：平成28年2月13日（土）12時30分～12時45分

会 場：新都ホテル「陽明殿」

報告課題：個人研究『「農の学び」を生かした総合学科高校生地域実践活動』

報告者：静岡県立富岳館高等学校教諭 望月 基希氏

報告課題：団体研究「防災教育の観点から行う ESD 教育～国際理解プログラムの開発によるグローバル人材の育成～」

報告者：宮城県多賀城高等学校教諭 石川薫氏

3. 機関誌の刊行

『会誌アカデミア』の発行

○No.151 2015.4 『自然資本経営-地域からの発信』

巻頭言：「自然資本経営とは何か」

京都大学大学院経済学研究科特定准教授 山口 臨太郎

京都大学大学院経済学研究科研究員 籠橋 一輝

『2014.11.30 京都大学大学院経済学研究科自然資本経営論講座設立記念シンポジウム-自然資本経営とは何か〜海と山から感じ社会・経済を考える〜』

基調講演：「自然資本経営のすすめ」

京都大学大学院経済学研究科特任教授 谷口 正次

『2015.3.3 京都大学大学院経済学研究科自然資本経営論講座シンポジウム-地域での自然資本経営-』

基調講演：「森は海の恋人」

特定非営利活動法人「森は海の恋人」理事長 畠山 重篤

「自然資本経営を語る」

構想日本代表 加藤 秀樹

場所文化フォーラム名誉理事 吉澤 保幸

まとめ：「自然資本経営と森里海連環学」

京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長 田中 克

○No.152 2015.7 『経済のグローバル化における食と農の連携関係のあり方』

巻頭言「経済のグローバル化における食と農の連携関係のあり方」

京都府立農業大学校長・龍谷大学名誉教授 河村 能夫

「如何に規格化は食と農業のグローバル化を押し進めてきたか」

サム・ヒューストン州立大学社会学科准教授 マキ・ハタナカ

ミシガン州立大学社会学科教授（大学榮譽教授） ロウレンス・ブッシュ

『食・農・環境から日本と世界を展望する-日本経済と食生活・農業の変遷からみる「グローバル」ビジョン-』

国学院大学経済学部教授 古沢 広祐

「グローバル経済化に向けて 京の食文化と農業～普及活動事業の取り組みから～」

元京都府京都乙訓農業改良普及センター所長 松田 武子

「経済のグローバル化における食と農の連携関係のあり方を探る」

龍谷大学名誉教授・京都府立農業大学校長 河村 能夫

立命館大学国際関係学部教授 河村 律子

○No.153 2015.10 2015年京都シンポジウム「いのちのふるさと海と生きる」

趣旨説明「いのちのふるさと海と生きる」

京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長 田中 克

講演1：海と命「人類の遠い祖先を海に訪ねて」

琉球大学理事・副学長 東京大学名誉教授 西田 睦

- 講演 2 : 海と森「森と海を結ぶ新たな研究と教育に挑む」
 京都大学フィールド科学教育研究センター教授 山下 洋
- 講演 3 : 海と文明「環太平洋文明から日本の未来を見据える」
 国際日本文化研究センター名誉教授 安田 喜憲
- 講演 4 : 海と経済「自然資本経済、日本モデルが世界を救う」
 京都大学大学院経済学研究科特任教授 谷口 正次
- 特別寄稿「海とともに生きるために～自然の管理から生き方を問い直す～」
 海の生き物を守る会代表・北海道大学名誉教授 向井 宏

○No.154 2015.12 2015 年 東京シンポジウム 女性が描く「いのちのふるさと海と生きる」

- 趣旨説明「いのちのふるさと海と生きる」
 舞根森里海研究所所長・京都大学名誉教授 田中 克
- 講演 1 : ドキュメンタリー映画「赤浜ロックンロール」に描く三陸漁師の心意気
 ～海がみえねえじゃねえか、バカヤロー！～
 ドキュメンタリー映画 監督 小西 晴子
- 講演 2 : ふるさと一国を越えた思いを探る
 東京経済大学コミュニケーション学部講師 松永 智子
- 講演 3 : いのちを知り生かす身心一体科学
 東京農工大学工学部客員教授・東京大学名誉教授 跡見 順子
- 講演 4 : 「森里川海プロジェクト」が時代を変える
 環境省自然環境局生物多様性地球戦略企画室室長 中尾 文子
- 講演 5 : 森の採譜ー森と生き物たちへの賛歌 “シメの贈り物”
 詩人・作家 丹治 富美子

4. その他の事業

「理事会・定時社員総会開催」

①第 1 回理事会

日時：平成 27 年 6 月 2 日（火）13 時 30 分～15 時

場所：新都ホテル「八坂の間」

- 議案：1. 平成 26 年度事業報告の件
 2. 平成 26 年度収支決算の件
 3. 平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書の件
 4. 平成 27 年度収支予算の件
 5. 任期満了に伴う評議員選任の件
 6. 第 4 回（2015 年度）アカデミア教育研究助成応募要項の件
 7. 創立 70 周年（2016 年）記念式典開催の件

②定時社員総会

日時：平成 27 年 6 月 19 日（金）15 時～16 時 30 分

場所：新都ホテル「八坂の間」

- 議案：1. 平成26年度事業報告の件
2. 平成26年度収支決算の件
3. 平成26年度公益目的支出計画実施報告書の件
4. 任期満了に伴う役員（理事・監事）選任の件

③第2回理事会

日時：平成27年7月10日（金）13時30分～14時

場所：新都ホテル「八坂の間」

- 議案：1. 会長、副会長、専務理事、常務理事選任の件
2. 評議員選任の件
3. 創立70周年記念事業実施委員会設置の件
4. 女性が描く「いのちのふるさと海と生きる」東京シンポジウム開催の件

④第3回理事会

日時：平成27年11月13日（金）14時～15時

場所：新都ホテル「桂の間」

- 議事：1. 平成27年度アカデミア賞選考の件
2. 平成27年度アカデミア教育研究助成選考の件
3. アカデミア賞選考細則一部改正の件

⑤第4回理事会

日時：平成28年3月16日（水）13時～15時

場所：新都ホテル「宇治の間」

- 議事：1. 平成28年度事業計画の件
2. 平成28年度収支予算の件
3. 平成27年度事業報告の件
4. 平成27年度決算報告の件
5. 平成28年度定時社員総会開催の件
6. アカデミア賞選考委員会設置の件
7. アカデミア教育研究助成選考委員会設置の件
8. 創立70周年記念行事の件